

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



NST (栄養サポートチーム) ～患者さん一人一人に合った栄養管理を目指して

NST専任管理栄養士 大平真衣

入院治療が必要な場合、病気による侵襲に加えて様々な症状や治療の影響によって一時的に栄養量が不足する場合があります。例えば、治療上絶食が必要な場合、痛みや熱などの症状による食欲不振、嘔むことや飲み込むことがうまくできない場合などです。

【低栄養状態とNSTの介入】



栄養量の不足が長期に渡ることによって「低栄養状態」となり、身体機能を維持するための栄養が不足し、筋力低下や免疫力の低下に繋がる可能性があります。

入院中の「低栄養状態」の判定は、必要栄養量の50%未満で1週間以上経過した場合、血清アルブミン（血液中のタンパク質の中で60%を占めるタンパク質）の低下、体重の低下などをもとに総合的に判断されます。

このような「低栄養状態」の予防や改善に向けて、当院では医師・看護師・管理栄養士・薬剤師など多職種からなるNST (Nutrition Support Team) が栄養介入を行っています。



多職種による栄養カンファレンス

【栄養状態の管理】

当院の栄養管理は、まず入院した時点で栄養状態の評価を行い、患者さまひとりひとりに合わせて目標栄養量を設定の上、食事の形態や内容の工夫、補助栄養などによって

栄養の維持に努めています。その中でも「低栄養状態」や「低栄養のリスクのある」患者さまについては、各病棟での栄養カンファレンスに加えて、NSTが介入し栄養量の改善に向けて協議しています。



【改善策の提案】

食欲不振の要因は様々で、重なって生じていることも多く見られます。

＜食欲不振の要因＞

- ・発熱 ・呼吸状態 ・認知機能 ・睡眠不足
- ・痛み ・嘔気 ・便秘
- ・嘔むこと、飲み込むことの障害 ・薬の影響
- ・食環境 ・嗜好 ・ストレス ・活動量 など

チームによる介入はそれぞれの専門分野から多面的に評価することで、より患者さまに適した改善策を提案することができ、病気の治癒や回復の促進に貢献できると考えています。

また退院後の栄養の維持・改善に向けて、退院先の施設などへの情報提供や、ご家族への栄養相談も積極的に行っています。

今後も患者さまやご家族の思いに寄り添った栄養管理ができるよう努めてまいります。



当院で使用している栄養補助食品



「健康管理室」は人間ドックや健康診断にまつわる「健診事務業務」を通じて、人間ドック・健診センターの運営業務を行っています。

みなさまの中には「人間ドックが終わって帰宅したら疲れてぐったり・・・」というご経験がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？人間ドックや健康診断は、通常の診療では考えられない多種多様な検査を1日で（しかも数時間のうちに）受けていただくという、身体にとっては「年に一度の一大イベント」と言ってもよい機会です。だからこそ、健康管理室のスタッフはみなさまへの「やさしい対応」を心掛け、センターでの時間を少しでも快適に過ごしていただける様、受診されるみなさまのご案内を担当しています。また、医師、看護師、検査技師などがそれぞれにご提供している「確かな医療技術」を連携させ、一つの形にまとめ上げる役割を担っています。

当センターでは「健康長寿」をめざす地域のみなさまの健康管理のお役に立てるよう、また「健康経営優良企業」を目指す企業様の良きパートナーとなるよう、安心・安全な人間ドックや各種健康診断メニューをご用意しております。健康管理室スタッフ一同、2階健診センターにてみなさまのご受診をお待ちしております。



X線透視装置が新しくなりました！

X線透視装置は、X線像をリアルタイムで動画として見ながら検査や治療を行う装置です。当院では、消化器系疾患（胆管や膵管の検査や治療、腸管の動きが悪い時や詰まったときの治療）、泌尿器系疾患の検査や治療、整形の整復（骨折や脱臼した時にずれた骨を元の位置に戻す）や脊髄の検査など行っております。

新しい装置により、**患者さまへの放射線被ばくが従来の装置に比べ65%減少**しました。また、処置や治療を行いやすい広い作りとなったため、時間短縮効果が期待できます。当院では、血管内治療装置を1台保有していますがバックアップ機として、血管内治療にも代用できる機器となっています。



救急症例勉強会開催

2023年2月17日に、救急症例勉強会を実施しました。

今回は内科部長 宮城医師が講師を務め、横浜市内・外から150名以上の救急隊員にご参加いただきました。

勉強会は「救急隊到着から病院搬送までどこまで病態を把握できる？」というテーマで実施し、救急隊が現場で気をつけるべきポイント・どの科目へ搬送すべきか、迷った際の判断指標を中心に講義を行いました。なかでも重症化リスクの高い糖尿病ケトアシドーシス・大動脈弁狭窄症については深く掘り下げて説明させていただきました。



緑すこやか健康講座開催

3年ぶりに会場での健康講座を開催します。当院と三保町内科・循環器クリニックの共催です。

日時：2023年5月27日（土）13：00 開場 14：00 開演 場所：横浜市緑公会堂

講師：三保町内科・循環器クリニック 院長 小野 文明
横浜新緑総合病院 乳腺外科部長 大地 哲也
消化器内科部長 白井 孝之

お申込み方法など、詳細は後日お知らせいたします



WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン（QRコード）からいつでもご視聴いただけます。

